

スケジュール連携マニュアル

[Sales Force Assistant シリーズ]



Copyright (C) NI Consulting Co., Ltd. All rights reserved.

目次

1 はじめに	2
1-1 連携対象型品	2
	2
	-
2. 連携機能を使用するにのには	
2-1.設定の種類 コームのHash Colorder DECT ADI、共通批定、フレンサール海礁、伊上記定、王順	4
2-1-1. Outlook Calendar REST API: 共通設定、スクシュール連続: 個人設定 - 于順	
2-1-2. Outlook Calendar RESI API: + 大理設定、スケンユール理携:まどのと設定 手順	6
2-2. Outlook Calendar REST API の有効化と認証情報の取得	7
2-2-1. Azure AD へのサインイン	7
2-2-2. Azure AD アフリケーションの登録	8
2-2-3. 証明書の作成と Azure AD アブリケーションへの反映	
2-2-4. 認証情報の取得	
2-3.システム設定:スケジュール連携	
2-3-1.スケジュール連携を設定する	
2-4.システム設定:社員	
2-4-1.連携情報を登録する	
2-5.オプション設定:スケジュール連携設定	
2-5-1.個人ごとに設定する(Sales Force Assistant シリーズ)	
2-6.スケジュール連携における注意事項	
37ケジュール連進について	23
3-1 Sales Force Assistant シリーブとの連携	20 23
3-2-1 連携の特徴	
	25
3-3-1.カレンダー同期	
	00
4. トフノルンユーティノク	
ヘノンユール連済政定で1」フルル連済C1Vよい。	



・本マニュアルについて

Sales Force Assistant 顧客深耕 AO の「コンタクト情報」を「商談情報」と記載しております。

1.はじめに

スケジュール連携機能は、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに登録すると、Microsoft Office 365 (Exchange Online)予定表(※以下 Office 365 予定表)に連携して自動登録することができます。

1-1.連携対象製品

Office 365 予定表と連携が可能な対象の製品は以下の通りです。

・Sales Force Assistant シリーズ

1-2.連携のタイミング

スケジュールが連携されるタイミングは以下の通りです。リアルタイムには連携しませんのでご注意ください。



※データ通信量、連携先カレンダーの負荷状況により変動します。

2.連携機能を使用するためには

.

スケジュール連携を使用するためには、事前に以下の項目を決定してください。

1. Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを Office 365 予定表へ連携するか

⇒詳細については、「2-3.システム設定:スケジュール連携」を参照してください。

※Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを Office 365 予定表に連携することが可能です。 Office 365 予定表のスケジュールを Sales Force Assistant シリーズに連携することはできません。

2. スケジュール連携について、個人ごとの変更を許可するか

許可する場合	Outlook Calendar REST API を共通で設定し、スケジュール連携を 個人で設 定 する
	・・・「2-1-1. Outlook Calendar REST API:共通設定、スケジュール連携: 個人設定 手順」を参照してください。
許可しない場合	
	Outlook Calendar REST API を共通で設定し、スケジュール連携を まとめて
	- 設定する
	・・・「2-1-2. Outlook Calendar REST API:共通設定、スケジュール連携:
	まとめて設定「手順」を参照してください。

※許可しない場合、スケジュール連携設定はシステム管理者がまとめて設定/変更しなければなりません。 ※ A~Bは、システム設定「スケジュール連携」で設定を行います。

⇒「2-3.システム設定:スケジュール連携」を参照し、こちらより設定を始めてください。

В

2-1.設定の種類

連携機能を使用するためには、下記の設定が必要です。※の設定は必ず必要になります。 ①の設定によって、設定しなければならない箇所が異なりますのでご注意ください。(詳細は、前頁を参照してく ださい。)

※運用イメージは、次貢を参考にしてください。

※Outlook Calendar	Azure Active Directory(以下、Azure AD)で、Outlook Calendar REST API の利用設定を行います。
REST API 設定	⇒詳細は、「 <u>2-2. Outlook Calendar REST API の有効化と認証情報の取得</u> 」 を参照してください。

①システム設定	スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。		
「スケジュール連携」	⇒詳細は、「 <mark>2-3.システム設定:スケジュール連携</mark> 」を参照してください。		

	システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行いま		
②システム設定	す。		
「社員」			
	⇒詳細は、「2-4.システム設定:社員」を参照してください。		

	各社員がスケジュール連携設定を行います。
③オプション設定	※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合
「スケジュール連携設定」	⇒詳細は、「 <u>2-5.オプション設定:スケジュール連携設定</u> 」を参照してくださ い。



・スケジュール連携における注意事項について 設定の際は、「<u>2-6.スケジュール連携における注意事項</u>」を参照しながら設定を行ってください。 2-1-1. Outlook Calendar REST API: 共通設定、スケジュール連携: 個人設定 手順

<運用イメージ> -

Outlook Calendar REST API 利用設定はシステム担当者で行い、Office 365 予定表と NI 製品スケジュール との連携は個人(社員)で設定していただくイメージです。

Outlook Calendar REST API を共通で設定し、スケジュール連携は個人で設定するためには、 以下の設定ステップで実施してください。

Step 1	
Outlook Calendar REST API の 有効化を行う 【共通】	Azure AD で、共通で使用する Outlook Calendar REST API の利用設定を 行います。 ⇒詳細は、「 <u>2-2. Outlook Calendar REST API の有効化と認証情報の取得</u> 」 を参照してください。
Step 2	
システム設定 「スケジュール連携」	システム管理者がスケジュール連携設定を行います。 システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」 設定を行います。 ⇒詳細は、「 <u>2-3.システム設定:スケジュール連携</u> 」を参照してください。
Step3	
オプション設定 「スケジュール連携設定」	各社員がスケジュール連携設定を行います。 ※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合 ⇒詳細は、「2-5.オプション設定:スケジュール連携設定」を参照してくだ さい。

2-1-2. Outlook Calendar REST API: 共通設定、スケジュール連携: まとめて設定 手順

<運用イメージ>

Outlook Calendar REST API 利用設定、Office 365 予定表とNI 製品スケジュールとの連携まで全て システム管理者で管理していただくイメージです。

Outlook Calendar REST API を共通で設定し、スケジュール連携をまとめて設定するためには、 以下の設定ステップで実施してください。

Step 1

Outlook Calendar REST API の 有効化を行う 【共通】	Azure AD で、共通で使用する Outlook Calendar REST API の利用設定を 行います。 ⇒詳細は、「 <u>2-2. Outlook Calendar REST API の有効化と認証情報の取得</u> 」 を参照してください。
Step 2	
システム設定 「スケジュール連携」	システム管理者がスケジュール連携設定を行います。 システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」 設定を行います。 ⇒詳細は、「 <u>2-3.システム設定:スケジュール連携</u> 」を参照してください。
Step3	
システム設定:社員 「スケジュール連携」	システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。 →詳細は、「 <u>2-4.システム設定:社員</u> 」を参照してください。

2-2. Outlook Calendar REST API の有効化と認証情報の取得

Azure AD で、Outlook Calendar REST API の利用設定を行います。

2-2-1. Azure AD へのサインイン

- 下記のアドレスから Microsoft 365 管理センターに管理者ユーザーでサインインします。
 Microsoft 365 管理センター 『 https://admin.microsoft.com 』
 ⇒Microsoft 365 管理センターのホーム画面が表示されます。
- 2. 画面左メニュー「すべてを表示」>「Azure Active Directory」をクリックします。
- 3. ⇒Azure Active Directory 管理センターのダッシュボード画面が表示されます。





2-2-2. Azure AD アプリケーションの登録

 画面左メニュー「Azure Active Directory」>「App registrations」>「新規登録」をクリックします。
 ※Azure ADの初回アクセス時、左メニューのお気に入りに「Azure Active Directory」が登録されていますが お気に入りに無い場合は、「すべてのサービス」をクリックし、その中から「Azure Active Directory」を選択して ください。

アプリケーションの登録画面が表示されます。

≣ すべてのサービス		+ 新規登録 🜐 エンドポイント 🖉 トラブルシューテ	ィング 🛇 フィードバックがある場合		
★ お気に入り ◆ Azure Active Directory	① 概要	→ 新しく改良されたアプリの登録(一般提供になりました)へようこそ。新機能と変更内容についてご確認ください。 →			
	💉 はじめに	すべてのアプリケーション 所有しているアプリケーショ :	<u>v</u>		
	🗙 問題の診断と解決	P 260			
	管理	表示名	アプリケーション (クライア 作成日時	証明書とシークレット	
	<u> ネ</u> ユーザー	ス ケジュール連携	260c4f01-37b7-4044-ab 2019/6/5	🔮 現在	
	≛ グループ				
	📫 組織の関係				
	🍌 ロールと管理者				
	👯 エンタープライズ アプリケーション				
	🖪 デバイス				
	👯 アプリの登録				
	Identity Governance				
	🐺 アプリケーション プロキシ				
	🔓 ว าชวว				

2. 以下の入力を行い、アプリケーションの登録を行います。

アプリケーションの登録	
	(ア):任意の名前を入力します。
このアプリゲーションのユーザー回げ表示名(後はと変更できます)	
SFAスケジュール連携	
	(イ):「この組織のディレクトリ内のアカ
サポートされているアカウントの種類	
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれてすか?	ワノトのみ」を選択します。
この組織のディレクトリ内のアカウントのみ(株式会社)000000000)	
○ 任意の組織のディレクトリ内のアカウント	
任意の組織のディレクトリ内のアカウントと、個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox、Outlook.com	
し <u>な</u> ど)	
選択に関する詳細…	
リダイレクト URI (省略可能)	(ワ): エノルタワノは「Web」を選択しま
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後はご変更できま すが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。	す。右のテキストは、未入力とします。
Web ♥ https://myapp.com/auth	
	(工):豆球小タンをクリックします。
続行すると、Microsoft ブラットフォームポリシーに同意したことになります 🖸	
24	

Azure AD アプリケーションが登録されます。

3. Outlook Calendar REST API へのアクセス許可の設定を行います。

(ア)作成したアプリケーションの「APIのアクセス許可」>「アクセス許可の追加」をクリックします。

→ SFAスケジュール連携 API Ø)アクセス許可			\$ ×
	🖒 最新の情報に更新			
■ 概要 Ø クイックスタート 管理 	構成されたアクセス許可 アブリケーションは、同意のプロセスの一環 成されたアクセス許可の一覧には、アブリ	としてユーザーか管理・ ケーションに必要なす・ ミニニーニュー	者からアクセス許可が付与されてし 、てのアクセス許可を含める必要が マビ管理者の同意を与えます	Nる場合、API を呼び出すことが承認されます。構 fあります。アクセス許可と同意に関する詳細情報]
■ ブランド			へに自注目の问念を子んより	
	API / アクセス許可の名前	種類	説明	
▼ 証明書とシークレット	✓ Microsoft Graph (1)			
Ⅲ トークン構成 (プレビュー)	User.Read	委任済み	Sign in and read user profi	ile -
→ API のアクセス許可	•			•
🌰 API の公開				
🌇 所有者				
월 □-ルと管理者(プレビュー)				
7 7777				
サポート + トラブルシューティング				
∥ トラブルシューティング				
💄 新しいサポート リクエスト				

(イ) 画面上のタグから「所属する組織で使用している API」>「Office 365 Exchange Online」をクリックします。

APIアクセス許可の要求			
API を選択します Microsoft API API を公開するディレクトリ内のアプリは、以下のとおりです			
₽ API 名またはアプリケーション ID を入力します			
名前	アプリケーション (クライアント) ID		
Office 365 Management APIs	c5393580-f805-4401-95e8-94b7a6ef2fc2		
Microsoft Stream Portal	cf53fce8-def6-4aeb-8d30-b158e7b1cf83		
Dynamics 365 Business Central	996def3d-b36c-4153-8607-a6fd3c01b89f		
Office Scripts Service	62fd1447-0ef3-4ab7-a956-7dd05232ecc1		
Azure AD Identity Governance Insights	58c746b0-a0b0-4647-a8f6-12dde5981638		
Skype and Teams Tenant Admin API	48ac35b8-9aa8-4d74-927d-1f4a14a0b239		
Windows Azure Active Directory	00000002-0000-0000-c000-000000000000		
Microsoft Intune API	c161e42e-d4df-4a3d-9b42-e7a3c31f59d4		
Skype for Business	7557eb47-c689-4224-abcf-aef9bd7573df		
Microsoft Graph	00000003-0000-0000-c000-000000000000		
App Studio for Microsoft Teams	e1979c22-8b73-4aed-a4da-572cc4d0b832		
Connectors	48af08dc-f6d2-435f-b2a7-069abd99c086		
Power Query Online f3b07414-6bf4-46e6-b63f-56941f3f4128			
Microsoft.MilelQ.RESTService b692184e-b47f-4706-b352-84b288d2d9ee			
DeploymentScheduler 8bbf8725-b3ca-4468-a217-7c8da8731866			
Microsoft Teams Graph Service ab3be6b7-f5df-413d-ac2d-abf1e3fd9c0b			
Microsoft.MileIQ,Dashboard f7069a8d-9edc-4300-b365-ae53c9627fc4			
Office 365 Exchange Online 00000002-0000-0ff1-ce00-00000000000			
Microsoft Information Protection Sync Service	870c4f2e-85b6-4d43-bdda-6ed9a579b725		

(ウ) 「アプリケーションの許可」>「Calendars.ReadWeite.All」>「アクセス許可の追加」をクリックします。

API アクセス許可の要求				
く すべての API				
Exchange https://outlook.office365.com/ ドキュメント 🛽				
アプリケーションに必要なアクセス許可の種類				
委任されたアクセス許可 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアク セスする必要があります。	アプリケーシ: アプリケーシ: ラウンド サー	ョンの許可 ョンは、サインインしたユーザーなしで、バックグ ビスまたはデーモンとして実行されます。		
アクセス許可を選択する		すべて展開		
検索するテキストを入力				
アクセス許可		管理者の同意が必要		
full_access_as_app Use Exchange Web Services with full access to all mailboxe	5 0	はい		
▼ Calendars (1)				
□ Calendars.Read Read calendars in all mailboxes ●		はい		
Calendars.Read.All Read calendars in all mailboxes ⊕		はい		
Calendars.ReadWrite.All Read and write calendars in all mailboxes 0		はい		
▶ Contacts				
▶ Mailbox				
MailboxSettings				
▶ Mail				
▶ Tasks				
▶ User				
アクセス許可の追加 破棄				

(工) 「APIのアクセス許可」画面にて「管理者の同意を与えます」をクリックします。

ℓ 検索 (Ctrl+/) 《	APIのアクセス許可				
📙 概要	アプリケーションが APIを使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロ				
📣 クイックスタート	セスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。				
管理	+ アクセス許可の追加				
🚾 ブランド	API / アクセス許可の名前 種類 説明 管理者の同意が必要				
∋ 認証	▼ Exchange (1)				
📍 証明書とシークレット	Calendars.ReadWrite.All アプリケ Read and write calendars in all mailb はい 🛕 株式会社XXXXXXXXX				
→ APIのアクセス許可	▼ Microsoft Graph (1)				
API の公開	User.Read 委任済み Sign in and read user profile -				
12 所有者	ー これらは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの				
■ マニフェスト	同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 アクセス許可を要求するためのペスト プラクティスを参照する				
サポート + トラブルシューティング					
🗙 トラブルシューティング	同音オス				
🎴 新しいサポート要求					
	管理者は、このティレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理 者の同意を与えると、エンド ユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなりま				
	す。 す。				
	株式会社XXXXXXXXXXX に管理者の同意を与えます				

(オ) アクセス許可の付与が成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。

∕⊃ 検索 (Ctrl+/) 《	✓ 要求されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。	
👪 概要	APIのアクセス許可	

2-2-3. 証明書の作成と Azure AD アプリケーションへの反映

1. スケジュール連携機能は証明書ベースの認証を用います。

このため第三者認証機関が承認した証明書ファイル(.cerまはた.crt)を準備します。

弊社クラウドサービス、または NIAWS サービスをご利用の場合は、お客様独自ドメインの公開証明書ファイルを準備し てください。

なお、クライアント証明書を使用することも可能です。

2. 公開証明書ファイルを PKCS#12(.pfx)形式でエクスポートします。

詳細は認証局の設定手順に従ってください。

一般的なエクスポート方法は、OpenSSL コマンドを使用する方法です。

OpenSSL コマンドについては、以下のサイトでも紹介されていますので参考にしてください。

PFX への証明書のエクスポート

 I https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/app-service/configure-ssl-certificate#export-certificate-to-pfx

- 3. Windows PowerShell で公開証明書ファイルから、設定に必要な値を抽出します。
 - (ア) Windows PowerShell をインストールする。

※OS が Windows 7 以降の PC には初期状態でインストールされていますので、作業不要です。

下記 URL の「ダウンロード情報」項目の中から該当する OS の Windows Management Framework Core パッケ ージをダウンロードし、インストーラーを実行します。

Windows Management Framework [https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/968930]

(イ) スタートメニューより Windows PowerShell を起動します。

「スタート」>「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「Windows PowerShell」>「Windows PowerShell」

(ウ) 下記コマンドをコピーし、PowerShell に右クリックでペーストします。

※赤字の部分を適宜修正してください。

cd "<u>作業フォルダのパス</u>" \$cer = New-Object System.Security.Cryptography.X509Certificates.X509Certificate2 \$cer.Import("公開証明書ファイルのパス") \$bin = \$cer.GetRawCertData() \$base64Value = [System.Convert]::ToBase64String(\$bin) \$bin = \$cer.GetCertHash() \$base64Thumbprint = [System.Convert]::ToBase64String(\$bin) \$keyid = [System.Guid]::NewGuid().ToString() echo \$base64Value > base64Value.txt echo \$base64Thumbprint > base64Thumbprint.txt echo \$keyid > keyid.txt

⇒作業フォルダに3つのテキストファイル「base64Value.txt」、「base64Thumbprint.txt」、「keyid.txt」が 出力されます。 4. Azure AD アプリケーションのマニフェストファイルの編集を行います。

(ア)作成したアプリケーションの「マニフェスト」をクリックします。

○	び SFAスケジュール連携 マニフ:	נגף איז גער איז גער
● 病要 FOIT+f2+在使用すると、ISON 表現在直接変更して20アプリク->3>在更新できます。詳細については、以下を参照してください。Acure Active Directory アプリケ->3> マニコストを開催します。 ● ク19729-ト ● 「ゴイ: "a6f91fc8-@bao-4555-9799-7beb20950a9d", "acceptMappedClaims": null, "acceptMappedClaims": null, "appId": "ible6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", "appId": "null, "ible6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", "appId": null, "ible6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", "appId": null, "ible6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", "appId": null, "ible7fd1/aible7d1/dive6flamEplic4flow": false, "oauth2AllowIDMIdve6flamEplic4flow": false, "oauth2AllowIDMIdve6flamEplic4flow": false, "oauth2AllowIDMIdve6flamEplic4flow": false, "oauth2AllowIDMIdve6flamEpli	タ 検索 (Ctrl+/) 《	🖫 保存 🗙 破棄 不 アッフロード 🚽 ダウンロード
タ クイック スタート 1 0 ** ** ** if* ** ** ブランド ** ** ** ** ** ブランド ** * ** *	🤑 概要	下のエディターを使用すると、JSON 表現を直接変更してこのアプリケーションを更新できます。詳細については、以下を参照してください。 Azure
管理 2 "id": "a6f91fc8-0ba9-4555-9799-7beb20950a9d", "acceptHappedClaim": null, "acceptHappedClaim": null, ● ブランド 3 "acceptHappedClaim": null, ● 運用急と>-クレット "adlowbitClient": null, ● 運用急と>-クレット "allowPublicClient": null, ● 運用急と>-クレット "appRoles": [], ● 本PI 077b2為年可 "createdDateTime": "2020-03-26101:48:022", ● API 077b2為年可 "informationalUrls": { ● API 077b2為年可 "informationalUrls": { ● API 02%開 "informationalUrls": { ● API 02%開 "informationalUrls": { ● API 02%開 "informationalUrls": { ● API 02%R "informationalUrls": { ● ToThと言理者(f) とニュ) "informationalUrls": { ● ToThとコー> "informationalUrls": { ● ToThとコー> "informationalUrls": { ● ToThとコー> "informationalUrls": null, ● ToThとコー> "informationalUrls": null, ● ドラブルシュー> "anaketing": null, ● ドラブルシュー> "anaketing": null, ● ドラブルシュー> "anaketing": null, ● ドラブルシュー> "anaketing": mull, ● ドラブルシュー> "aname": "\$f84.7 * □ = /b ###.", ● authAllowIndIntertpointietFlow": fal	<i>🖗 り</i> イック スタート	1
ゴフンド 4 "accessTokenAcceptedVersion": null, * addIns": [], *addIns": [], * addIns": [], *allowPublicClient": null, * 區明書とシークレット *allowPublicClient": null, * 「御月書とシークレット *allowPublicClient": null, * 「御月書とシークレット *allowPublicClient": null, * 「御月書とシークレット *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * 「御月書とシークレット *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * 「御月書とシークレット *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * 「御月書とシークレット *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * 「appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * 「appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", *appId": "1ble6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845", * API 0020用 10 *createdDateTime": "2020-03-26T01:48:022", * 「addTindwellowFilentins": [], *identifiertins": [], * TortationalUrls": [], *identifiertins": [], * TortationalUrls": [], *sport: null, *sport: null, * 「appIduationalUrls": null, *sport: null, *sport: null, * 「appIduationalUrls": [], *sport: null, *sport: null, * 「b57Jb21-57479 *sport: null,<	管理	2 "id": "a6f91fc8-0ba9-4555-9799-7beb20950a9d", 3 "acceptMappedClaims": null.
● 課題	■ プランド	4 "accessTokenAcceptedVersion": null, 5 "addIns": []
	● 認証	6 "allowPublicClient": null,
III トークソ構成(パレビュー) 9 "oauth2AllowUrPathMatching": false, * API のククセス許可 10 "createdDateTime": "2020-20101;48:022", * API の公開 11 "identifierUris": [], * API の公開 12 "identifierUris": [], * API の公開 13 "informationalUrls": { ** ボ布者 14 "termsOfService": null, ** "spopped": null, "privacy": null, ** "privacy": null, "marketing": null ** Topout?: null, "marketing": null ** "keyCredentials": [], "keyCredentials": [], ** "keyCredentials": [], "keyCredentials": [], ** "kownClientApplications": [], "logout/1": null, ** "logout/1": null, "name": "SFAZ 75 ½ = -ル連携", ** "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, "oauth2AllowImplicitFlow": false, ** "oauth2AllowImplicitFlow": false, "oauth2RequirePostResponse": false, ** "oauth2RequirePostResponse": false, "oauth2RequirePostResponse": false, ** "oauth2RequirePostResponse": false, "oauth2RequirePostResponse": false, ** "oauth2RequirePostResponse": fals	📍 証明書とシークレット	<pre>/ app10": "10100+01-a180-40/3-03/C-200125025845 , 8 "appRoles": [],</pre>
 ◆ APIのアクセス許可 11 "groupMembershipClaims": null, * APIの公開 12 "identifierUris": [], * informationalUnLs": { * informationalUnLs": { * uremsOfService": null, * support": null, * privacy": null, * privacy": null, * reventionalUnLs": { * uremsOfService": null, * uremsOfService": false, * oauth2AllowImplicitFlow": false, * oauth2AllowImplicitIns": [], * oauth2AllowImplicitIns": false, * optionalClaims": null, * orgRestrictions": [], * uremsOfService": [], * uremsOfService:: [],	Ⅲ トークン構成 (プレビュー)	9 "oauth2AllowUrlPathMatching": false, 10 "createdDateTime": "2020-03-26T01:48:02Z",
 ▲ API の公開 13 TinformationalUP1s": { informationalUP1s": { isupport": null,	→ API のアクセス許可	11 "groupMembershipClaims": null, 12 "identifierUnic": []
<pre> # 所有者 # demsOfSevice": null, "temsOfSevice": null, "support": null, "privacy": null, "privacy": null, "marketing": null, "marketing": null "marketing": null "keyCredentials": [], "KnownClientApplications": [], "knownClientApplications": [], "knownClientApplications": [], "logoutUrl": null, "name": "SFAZ FY' 21 "logoutUrl": null, "name": "SFAZ FY' 21 "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, "oauth2AllowInplicitFlow": false, "oauth2RequirePostResponse": false, "origRestrictions": [], "prenetalControlSettings": { "courtriesBlockedForMinors": [], "parentalControlSettings": { "courtriesBlockedForMinors": [], "prenetalControlSettings": { "courtriesBlockedForMinors": [], "prenetalControlSettings": { "courtriesBlockedForMinors": [], "courtriesBlockedForMinors": [],</pre>	API の公開	13 "informationalUrls": {
2 ロールと管理者(ブレビュー) 16 "privacy": null, "marketing": null 17 "marketing": null, "marketing": null 18 1 サボート + トラブルシューティング 20 グトラブルシューティング 21 23 新Lいサボート リクエスト 24 "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, "oauth2AllowIdTokenSons": [], "oauth2AllowIdTokenSons": [], "oauth2AllowIdTokenSons": [], "oauth2RequirePostResponse": false, 26 "optionalClaims": null, "privacy": false, 25 "oauth2RequirePostResponse": false, 28 "optionalClaims": null, "parentalControlSettings": { 31	🌇 所有者	14 "termsOfService": null, 15 "support": null,
マンエスト 1/2 「marketing:: null サポート・トラブルシューティング 19 「keyCredentials": [], ジ トラブルシューティング 19 「logoUrl": null, 2 "logoutPl": null, 2 ごのgoutPl": null, 10 "logoutPl": null, 2 "logoutPl": null, 2 ごのauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, 20 "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, 20 "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false, 20 "oauth2RequirePostResponse": false, 21 "orgRestrictions": [], 22 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 31 "countriesBlockedForMinors": [],	▋ □-ルと管理者(プレビュー)	16 "privacy": null,
19 "keyCredentials": [], ツボート・トラブルシューティング 20 "knownClientApplications": [], ② トラブルシューティング 21 "logoUtP1": null, 22 "logoUtP1": null, 23 第レいサボート リクエスト 23 "name": "SFAスケジュール連携", 24 "oauth2AllowImplicitFlow": false, 25 "oauth2AllowImplicitFlow": false, 26 "oauth2Permissions": [], 27 "oauth2RequirePostResponse": false, 28 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],	T 7_71.21	17 "marketing": null 18 }.
P トラブルシューティング 21 1 "logOutP1": null, 22 1 JogoutUP1": null, 22 23 1 JogoutUP1": null, 23 24 25 25 26 26 26 26 27 27 20auth2AllowImplicitFlow": false, 26 26 27 27 20auth2RequirePostResponse": false, 28 28 29 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	サポート + トラブルシューティング	19 "keyCredentials": [], 20 "knownClientApplications": [].
注 ************************************	/ ^タ トラブルシューティング	21 "logoUrl": null,
24 "oauth2AllowIdTokenImplititFlow": false, 25 "oauth2AllowImplititFlow": false, 26 "oauth2AllowRequirePostResponse": false, 27 "oauth2RequirePostResponse": false, 28 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],		22 "logoutUrl": null, 23 "name": "SFAスケジュール連携".
<pre>25 "oauth2AllowImplicitFlow": false, 26 "oauth2Permissions": [], 27 "oauth2RequirePostResponse": false, 28 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],</pre>	▲ 新しいタホード タクエスト	24 "oauth2AllowIdTokenImplicitFlow": false,
26 "oauth2Permissions": [], 27 "oauth2RequirePostResponse": false, 28 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],		<pre>25 "oauth2AllowImplicitFlow": false,</pre>
<pre>2/ oautn2kequirePostKesponse : Talse, 28 "optionalClaims": null, 29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],</pre>		26 "oauth2Permissions": [],
29 "orgRestrictions": [], 30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],		<pre>2/ Oautn2kequirerOstkesponse : faise, 28 "ontionalClaims": null</pre>
<pre>30 "parentalControlSettings": { 31 "countriesBlockedForMinors": [],</pre>		29 "orgRestrictions": [],
31 "countriesBlockedForMinors": [],		30 "parentalControlSettings": {
		31 "countriesBlockedForMinors": [],
32 "legalAgeGroupRule": "Allow"		32 "legalAgeGroupRule": "Allow"
33 }-		33 },

- (イ) エディターの空の KeyCredentials プロパティを次の内容に置き換えます。
 - ・変更前

"keyCredentials": [], ・変更後(※赤字部分に、前項で出力したテキストファイルの内容を反映してください。) "keyCredentials": [{ "customKeyIdentifier": "base64Thumbprint.txtの内容", "keyId": "keyid.txtの内容", "type": "AsymmetricX509Cert", "usage": "Verify", "value": "base64Value.txtの内容" }],

(ウ)変更が完了したら保存ボタンをクリックします。保存に成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。



2-2-4. 認証情報の取得

登録したアプリケーションから「2-3.システム設定:スケジュール連携」に必要な情報を取得します。

1. クライアント ID を取得します。

作成したアプリケーションの「概要」をクリックします。画面右に表示されるアプリケーション(クライアント ID)の項目 を確認してください。(「2-3-1.スケジュール連携を設定する」で使用します。)

2. OAUTH 2.0 トークン エンドポイントを取得します。

作成したアプリケーションの「概要」>「エンドポイント」をクリックします。「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v1)」 を確認してください。(「<u>2-3-1.スケジュール連携を設定する</u>」で使用します。)

※「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v2)」は使用しません。

SFAスケジュール連携				
	前削除	〕 エンドポイント		
👯 概要	🚹 少しお時間	間があれば、 Micros	soft ID プラットフォーム (以前は開発者向	け Azure AD) に関するフィードバックをぜひお寄せください。→
🖗 ሳኅック スタート	表示名 SFAスケジュール連携			サポートされているアカウントの種類 所属する組織のみ
管理	アプリケーション (クライアント) ID 1b1e6fd1-a18b-4e73-b37c-2d0125d25845		0125d25845	<mark>リダイレクト URI</mark> リダイレクト URI を追加する
 ブランド シ 認証 	マーファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・		79298270e8	アプリケーション ID の URI アプリケーション ID URI の追加
	オブジェクト ID a6f91fc8-0ba9-4555-9799-7bet		eb20950a9d	ローカル ディレクトリでのマネージド アプリケーション SFAスケジュール連携

SFAスケジュール連携 …		
	OAuth 2.0 承認Tンドポイント (v2)	
	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/oauth2/v2.0/authorize	D
🧸 概要	OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v2)	
🖗 ሳኅック スタート	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/oauth2/v2.0/token	D
管理	OAuth 2.0 承認エンドポイント (v1)	
	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/oauth2/authorize	Ð
	OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v1)	
● 認証	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/oauth2/token	D
📍 証明書とシークレット	OpenID Connect メタデータ ドキュメント	
Ⅲ トークン構成 (プレビュー)	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/v2.0/.well-known/openid-configuration	D
🗇 API のアクセス許可	Microsoft Graph API エンドポイント	
📤 API の公開	https://graph.microsoft.com	D
🌇 所有者	フェデレーション メタデータ ドキュメント	
🎴 ロールと管理者 (プレビュー)	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/federationmetadata/2007-06/federationmetadata.xml	D
■ マニフェスト	WS-Federation サインオン エンドポイント	
サポート + トラブルシューティング	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/wsfed	D
	SAML-P サインオン エンドポイント	
<i>(</i> 》 トラブルシューティング	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/saml2	D
🙎 新しいサポート リクエスト	 SAML-P サインアウト エンドポイント	
	https://login.microsoftonline.com/62fab46a-338f-4105-b62d-5a79298270e8/saml2	D

2-3.システム設定:スケジュール連携

スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。

・スケジュール連携に必要な条件について
Office 365 予定表に連携するためには、製品がインストールされているサーバー
から、 443 ポート を通じて <u>https://outlook.office365.com、</u>
https://login.microsoftonline.com ヘアクセス可能な環境が必要です。社内の
ご担当者あるいはネットワーク業者へご確認ください。
・予定表のデフォルト値が選択されている場合
予定表が公開(共有)になっていると、登録されたスケジュールも全て公開(共有)され
る為、ご注意ください。

2-3-1.スケジュール連携を設定する

1. システム設定の 運用管理 より「スケジュール連携」の「基本設定」を選択します。

⇒「スケジュール連携/基本設定」画面が表示されます。

2. 必要事項を設定し、最後に

ボタンをクリックします。

スケジュール連携 *:	●連携する ●連携しない	
連携サービス *:	Office 365(Exchange Online)	
個人ごとの設定変更 許可:	●許可する ○許可しない	
連携サービスへの登 録:	●使用する ○使用しない	
共通認証情報		
クライアントID:	XXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXXXXX	
	Azure ADアプリケーションのクライアントIDを指定します。 例:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxxxxxx	
連携キーファイル:	ドラッグ&ドロップで貼り付けることができます。	
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxpfx	+
	作成したpfx証明書ファイルを選択します。 例:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx.pfx	
パスワード :	•••••	
	pfx証明書ファイルにパスワードが設定されている場合のみ入力します。	
拇印:	XXXXXX	
	x509公開証明書ファイル(cer)から取得した拇印を入力します。	
ドメイン名:	xxxxx.onmicrosoft.com	
	Office 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。 例:xxxxx.onmicrosoft.com	
OAUTH 2.0 トーク	https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token	
シェント까1 ント:	OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Azure AD管理画面よりコピー&ベーストして指定します。 例:https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token	2

	項目名称	説明			
	スケジュール連携	Office 365 予定表とのスケジュール連携機能を利用するかしないか選択します。			
	連携サービス	連携するサービスを選択します。			
В	個人ごとの連携設定の	社員ごとに連携設定を行うことを許可するかしないかを選択します。			
	変更許可	「許可する」場合			
		「オプション設定」-「スケジュール」メニューに「 スケジュール連携設定 」が追加			
		されます。			
		⇒詳細は、「 <u>2-5.オプション設定:スケジュール連携設定</u> 」を参照してください。			
		「許可しない」場合			
		システム設定画面から、利用社員分の連携ユーザーID 等を指定します。			
		⇒詳細は、「 <mark>2-4.システム設定:社員</mark> 」を参照してください。			
Α	連携サービスへの登録	Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、Office 365 予定表に登録するかし			
		ないか選択します。			
	共通認証情報	Office 365 スケジュール連携で、共通利用する Outlook Calendar REST API への認証			
		情報を指定します。			
		クライアント ID			
		Azure AD アプリケーションの一意な ID です。			
		取得手順は、「 <mark>2-2-4. 認証情報の取得</mark> 」を参照してください。			
		連携キーファイル Azure AD との認証に使用する証明書が必要です。			
		Azure AD との認証に使用する証明書が必要です。			
		「2-2-3. 証明書の作成と Azure AD アプリケーションへの反映」で作成した pfx 形式			
		のX.509証明書ファイルを選択します。			
		パスワード			
		連携キーファイルにパスワードが設定されている場合のみ、パスワードを指定します。			
		連携キーノアイルに指定した X.509 証明書の預印を指定します。			
		I_{2-2-3} . 証明書の作成と Azure AD アノリケーションへの反映」で取得した			
		base641 numpprint.txt の内谷をコヒー&ヘーストしてくたさい。			
		UTICE 305 で利用するユーリーの@マーク以降を指定します。 NI 制日タフーザーの社員設定またはオゴミュン設定で「NI 制日の社員ログノンID た			
		NI 装い谷ユーリーの社員設たまたはオノション設定してNI 装いの社員ログイン ID を 利用する」が選択されている担合「社員ログイン, IDのドメインターを Office 265 の			
		利用する」が選択されている場合、「社員ロジイン」D便下メイン名」を Office 305 の			
		Onutizioでにつてアンビストーンノで取得する URL で相比します。 取得壬順什 「2-2-4 認証情報の取得」を参照してください			

2-4.システム設定:社員

システム設定メニューから、スケジュール連携の連携有無・連携設定を社員ごとに行います。

2-4-1.連携情報を登録する



1. システム設定の基本設定より「社員」の「社員一覧」を選択します。

⇒「社員/社員一覧」画面が表示されます。

- スケジュール連携する社員を選択します。
 ⇒編集画面が表示されます。
- 3. 「スケジュール連携」項目にて、必要事項を入力し最後に 保存 ボタンをクリックします。
- 4. 次に、正しく連携されているかどうかを確認します。

基本設定より「スケジュール連携」の「ログ」を選択します。

⇒「スケジュール連携/ログ」画面が表示されます。

一覧画面にエラーログが表示されていないかを確認します。
 エラーが表示されている場合は、その内容にしたがって設定をご確認ください。
 ※エラー内容の具体例については、「4.トラブルシューティング」を参照してください。

スケジュール連携	
スケジュール連携:	 連携する 連携しない 使用禁止 [Office 365(Exchange Online)] スケジュール連携可能製品をご使用の場合のみ、有効な設定項目となります。 (Sales Force Assistant シリーズ)
ユーザーID設定:	●個別にOffice 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する ●NI製品の社員ログインIDを利用する
連携ユーザーID:	xxxxxxxx@example.onmicrosoft.com Office 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。 例:xxxxxxxx@example.onmicrosoft.com
連携先力レンダー:	予定表 □□ ◎ 連携先力レンダーが未指定の場合、ユーザー標準の予定表が連携先となります。

項目名称	説明		
スケジュール連携	スケジュール連携構	^{幾能を利用する場合、以下の項目を設定してください。}	
	※この設定を有効にするためには、「運用管理」-「スケジュール連携」-「基本設定」のス		
	ケジュール連携項	頁目の「連携する」を選択してください。	
	スケジュール連携	個人ごとの連携状態を指定します。	
		※「使用禁止」について	
		個人ごとの連携設定の変更が許可されている場合、特定の社員のみ	
		使用を禁止する設定です。この設定により、個人ごとの設定許可も	
		禁止されるため使用不可となります。	
	ユーザーID 設定	個別に Office 365 ユーザーID を設定するか、NI 製品の社員ログイン	
		ID を利用するかを選択します。	
		※「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」 を選択した場合、連携ユー	
		ザーID の項目が非表示になり、「社員ログイン ID@ドメイン名」を	
		Office 365 のユーザーID としてスケジュール連携します。	
		※ドメイン名は「システム設定」-「運用管理」-「スケジュール連携」	
		-「基本設定」より設定してください。	
	連携ユーザーID	Office 365 ユーザーID を指定します。	
		※NI 製品の社員ログイン ID を利用する場合は、入力不要です。	
	連携先カレンダー	連携したい Office 365 予定表を選択します。	
		予定表選択 × 予定表選択 * 予定表 * 新潟島スケジュール * 会社イベントスケジュール *	

2-5.オプション設定:スケジュール連携設定

各社員が個別にスケジュール連携について設定を行います。



2-5-1.個人ごとに設定する (Sales Force Assistant シリーズ)

- たメニューより「オプション設定」を選択します。
 ⇒オプション設定画面が表示されます。
- 2. オプション設定メニューから「スケジュール連携設定」を選択します。
- スケジュール連携設定」の「連携する」を選択します。
 ⇒設定項目が下側へ追加されます。

Sales Force Assistant 顧客深耕R > スケジュール/スケジュール連携設定			
保存			
スケジュール連携設定・	●連携する ●連携しない		
~ .	スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません	/0	

4. 「ユーザーID 設定」「連携ユーザーID」「連携先カレンダー」を入力し、

連携確認 ボタンをクリックします。

⇒エラーメッセージが表示された場合、「4.トラブルシューティング」を参照してください。

保存

5. その他必要事項を入力し、最後に

ボタンをクリックします。



項目名称	説明
スケジュール連携設定	Office 365 予定表とスケジュール連携するかしないか選択します。
ユーザーID 設定	個別に Office 365 ユーザーID を設定するか、NI 製品の社員ログイン ID を利用するかを 選択します。
	※「NI 製品の社員ログイン ID を利用する」を選択した場合、連携ユーザーID の項目が 非表示になり、「社員ログイン ID@ドメイン名」を Office 365 のユーザーID としてス ケジュール連携します。
	※ドメイン名は「スケジュール」-「スケジュール連携設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Office 365 ユーザーID を指定します。 ※NI 製品の社員ログイン ID を利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したい Office 365 予定表を選択します。

商談情報連携設定	□ 定期訪問 ▲
	回商品 P R
	「新規開拓
	□ 案件商談
	回纳品
	□ 集金
	□クレーム対応 ・
	スケジュール連携の対象外にする商談目的をチェックしてください。
商談情報連携設定	
(訪問件数として力	□*未選択*
ウントしないもの)	6 /1×2/
	*
	スケジュール連携の対象外にする商談目的(訪問件数としてカウントしないもの)をチェ
	ックしてください。
業務情報連携設定	回遊剌作成
	□ *ママク設定値以从*
	L スケジュール連携の対象外にする業務名をチェックしてください。
and the second se	

項目名称	説明
商談情報連携設定	連携 対象外 にする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント分)を選択します。
商談情報連携設定 (訪問件数としてカウント しないもの)	連携 対象外 とする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント外)を選択します。
業務情報連携設定	連携 対象外 とする業務情報「業務名」を選択します。

1 補 足	・「実績」の商談・業務はスケジュール連携の対象外です。
	なお、「予定」が「実績」となったスケジュールも連携対象外となります。

2-6.スケジュール連携における注意事項

Office 365 予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

	項目	説明
1	連携可能な	① Exchange Online の各プラン
	Microsoft 製品	https://products.office.com/ja-jp/exchange/compare-microsoft-exchange-online-plans
		② Office 365 のプランのうち法人向けに設計された予定表が使用可能なプラン
		https://products.office.com/ja-jp/business/compare-more-office-365-for-business-plans
		Office 365 Business Essentials
		Office 365 Business Premium
		Office 365 Enterprise E1、E3、E5
		以下は、Exchange Online が使用できないため未サポートとなります。
		Office 365 Business
		Office 365 ProPlus
2	スケジュールの	Sales Force Assistant シリーズから連携されたスケジュールは、常に公開(非公開のチェックが
	公開設定	OFF の状態)となります。
		ただし、Office 365 予定表は個人用のため、予定表自体を組織内の他ユーザーと共有、または、
		組織外に一般公開していない限り、公開スケジュールは本人のみ閲覧可能となります。
3	終日イベントの	Sales Force Assistant シリーズから連携されたスケジュールを「終日」のイベントに変更しない
	設定	でください。連携によるスケジュールの更新時に、開始、終了時刻の矛盾が生じ、エラーとなり
		ます。
4	標準以外のカレ	Sales Force Assistant シリーズと連携する連携先カレンダーを変更する場合、変更した予定表の
	ンダーを選択す	前月月初までの期間を同期します。
	る場合	そのため、連携先カレンダーを変更した場合、スケジュールが重複する可能性があります。
		重複したスケジュールは、Office 365 予定表にて削除してください。
		※連携先カレンダーの変更は、社員情報と個人オプション設定から可能です。
		※前月月初までの期間を同期する処理は、オプション設定でのみ実行されます。

3-1. Sales Force Assistant シリーズとの連携

Office 365 予定表と Sales Force Assistant シリーズを連携することができます。 Sales Force Assistant シリーズのスケジュールに登録すると、Office 365 予定表に自動連携されます。



[Sales Force Assistant シリーズ:スケジュール画面]

3-2-1.連携の特	封徴
------------	----

連携の特徴は、以下の通りです。

[Sales Force Assistant シリーズ ⇒ Office 365 予定表]



3-3.iOS 端末(iPhone、iPad)の標準カレンダーアプリ情報との連携

弊社製品のスケジュールを Office 365 予定表を経由し、iOS 端末(iPhone、iPad)の標準カレンダーアプリで、 参照することができます。



3-3-1.カレンダー同期

Office 365 予定表と iOS 端末の標準カレンダーを同期するには、Outlook.com を使って同期してください。

Outlook.com を利用する方法

アカウントを追加の画面で Outlook.com を選択し、メール・連絡先・カレンダー・メモ等を同期する設定の内、 カレンダーを連携する機能を利用する。

https://support.office.com/ja-jp/article/%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%82%92-iP hone%E3%80%81iPad%E3%80%81iPod-Touch-%E3%81%A7%E3%82%BB%E3%83%83%E3%83 %88%E3%82%A2%E3%83%83%E3%83%97%E3%81%99%E3%82%8B-b2de2161-cc1d-49ef-9ef 9-81acd1c8e234?ui=ja-JP&rs=ja-JP&ad=JP#BKMK_iOSmailapp



・iOS端末の標準カレンダーにて更新された商談情報・業務情報の内容は、

Sales Force Assistant シリーズ側には反映しません。

4.トラブルシューティング

スケジュール連携設定を行ったが連携されない。

スケジュール連携ログより、エラーログが記録されていないかご確認ください。エラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NI コンサルティングサポートデスクまでお問い 合わせください。

■設定箇所

システム設定の 運用管理 より「スケジュール連携」の「ログ」

Office 365 予定表連携時のエラーログ具体例	説明
予定表取得処理でエラーが発生しました。	ユーザーID が誤っている可能性があります。
(500:ErrorInternalServerError) The SMTP	社員情報、または、個人オプション設定からスケジュール連携
address has no mailbox associated with it.	設定を再設定してください。
認証処理でエラーが発生しました。	登録された情報で Azure AD への認証に失敗している状態で
(400:unauthorized_client) AADSTS70001:	す。
Application with identifier	クライアント ID が誤っている可能性があります。
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxx was not	
found in the directory	
xxxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxxx-xxxxxxxxxxxx	
ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx	
Correlation ID:	
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx	
Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	
認証処理でエラーが発生しました。	登録された情報で Azure AD への認証に失敗している状態で
(401:invalid_client) AADSTS70002: Error	す。
validating credentials. AADSTS50012: Client	Azure AD にアップロードした情報と異なる証明書のファイル
assertion contains an invalid signature. Trace ID:	を指定している可能性があります。
xxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxx	
Correlation ID:	
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx	
Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	
pfx 証明書ファイル読み込みエラーが発生しました。	証明書ファイルの形式が違う、または、証明書ファイルのパス
	ワードが誤っている可能性があります。
認証処理でエラーが発生しました。	登録された情報で Azure AD への認証に失敗している状態で
(400:unauthorized_client) AADSTS70002: Error	す。
validating credentials. AADSTS50064: Credential	拇印が誤っている可能性があります。
validation failed. Trace ID:	
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx	
Correlation ID:	
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx	
Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	

Office365 予定表連携時のエラーログ具体例	説明
認証処理でエラーが発生しました。	登録された情報で Azure AD への認証に失敗している状態で
(400:invalid_request) AADSTS90002: No service	す。
namespace named	OAUTH 2.0 トークン エンドポイントが誤っている可能性が
'xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxxx	あります。
found in the data store. Trace ID:	
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxx	
Correlation ID:	
xxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxx	
Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	
認証処理でエラーが発生しました。Unable to	Office 365 にアクセスできない状態です。
connect to ssl://login.microsoftonline.com:443.	ログメッセージに記載されているアドレスに NI 製品の WEB
Error: php_network_getaddresses: getaddrinfo	サーバーから通信できる環境が必要となります。
failed: Name or service not known	
予定表取得処理でエラーが発生しました。	Azure AD アプリケーションにアクセス許可の設定がされてい
	ない状態です。
	アクセス許可が必要となります。
	「2-2-2. Azure AD アプリケーションの登録」を参照して設
	定を行ってください。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いま せんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

2020年10月26日 第8版

株式会社 NIコンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp Fax : 082-511-2226

営業時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(当社休業日、土・日・祝日を除く)